

第4期鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)の策定にあたって

鶴見・あいねっと推進委員会 委員長 杉浦 節子

この度、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする第4期鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)を策定いたしました。

第3期計画の5年の間は、少子高齢化・核家族化が進み、地域の支えあいの基盤が弱まっている状況の中でも、地域住民、関係団体・機関でのつながりづくりが着実に広がってきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動が縮小している状況もありますが、このようなときだからこそ、人と人とのつながりの大切さを再確認している方も多いことと思います。

第4期計画においても、「あいねっと」を合言葉に、子どもから高齢者、障害のある方や外国につながる方など、誰もが安心して健やかに暮らせるまちを目指して、一人ひとりが自分のできることから行い、それが輪になって、福祉保健活動が一層発展していくことを願っています。

最後に、計画策定にあたり、多くの皆様からご協力いただきましたことを、心からお礼申し上げます。



鶴見区長 森 健二

鶴見区では、平成17年に第1期計画として鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)を策定し、取組を進めてきました。このたび、令和3年度から7年度までを計画期間とする第4期計画を新たに策定しました。

計画の検討にあたり、鶴見・あいねっと推進委員の皆様が熱心に御議論くださいました。また、区民アンケート、意見募集、地区懇談会等を通じて多くの貴重な御意見・御提案をいただきました。心より感謝申し上げます。

令和元年度末から流行した新型コロナウイルスの影響により、本計画も1年遅れての策定となりました。また、新型コロナウイルスの蔓延には、感染症としてだけでなく、人と人とのつながりが薄れるという社会的な影響もあり、鶴見・あいねっとの基本理念「たすけあい・支えあい・人と人とのネットワーク」の実現の重要性は、ますます高まっています。区民の皆様や関係団体・機関、事業所等の皆様とともに計画を推進してまいりたいと考えております。引き続き御支援・御協力をお願いいたします。



社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 会長 渡辺 武

「たすけあい・支えあい・人と人とのネットワーク」を基本理念とする“鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)”が平成17年度に策定されてから16年(3期)の月日が経過しました。

この間、鶴見区の各地域では“鶴見・あいねっと”の推進を通じて様々な支えあいの活動が広がりました。特に昨今では感染症の拡大など大きな社会環境の変化にも柔軟に対応し、地域の皆さんが工夫しながら着実に取組を進めておられることに改めてお礼を申し上げます。

さて、このたび令和3年度からの5年計画となる第4期“鶴見・あいねっと”を策定しました。本計画の推進により、これまで各地区で育んできた身近な地域での支えあいの取組がさらに充実したものになることを期待するとともに、本会も微力ながら地域福祉の一翼を担う団体として果たすべき役割をしっかりと進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、策定にあたりご尽力いただきました鶴見・あいねっと推進委員の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様へ心から感謝いたします。

